2023　年度　授業計画（シラバス）

学　　科	看護学科		科　目　区　分	専門分野	授業の方法	実習
科　目　名	小児看護学実習		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	90　(2)　時間(単位)
対 象 学 年	3学年		学期及び曜時限		教室名	病院・保育所・特別支援学校
担 当 教 員	寺﨑経子	実務経験とその関連資格	総合病院にて臨床経験　計15年（主に小児病棟勤務） 看護専門学校での教員経験　　地域の学校看護師などの経験			

《授業科目における学習内容》

＜病院＞
子どもの成長・発達段階の特徴をふまえ、健康障害が子どもと家族に及ぼす影響を理解し、必要な看護を実践できる基礎的能力を習得する。
＜保育所＞
保育園（所）実習を通して、健康な子どもの成長・発達および生活に応じた必要な看護を理解する。
＜特別支援学校＞
障がいのある子どもを理解する。

《成績評価の方法と基準》

実習指導者による行動目標の達成度評価表、実習生の出席状況、実習報告会の評価などによる総合評価とする。

《使用教材（教科書）及び参考図書》

《授業外における学習方法》

事前学習、課題学習、学内演習を行う。

《履修に当たっての留意点》

臨床現場でしか学べない多くの知識・技術・態度を身につける機会です。実習をより実りあるものにする為に学内での授業・実習をしっかり受講し、事前準備を万全にして臨んでください。

実習プログラム

実習期間 時間数	2023年　7月18日～11月2日 合計90時間
実習の目的	＜病院＞ 入院治療を受ける子どもとsの家族の状態及び生活に及ぼす影響について言語化できる。 子どもと家族の思いを尊重し、健康状態の回復・維持にむけた看護過程が展開できる。 保健医療チームにおける看護の役割と看護の継続性について言語化できる。 ＜保育所＞ 健康な子どもの成長・発達および生活に応じた援助について言語化できる。 ＜特別支援学校＞ 障がいのある子どもとその背景を理解する。 障がいのある子どもの潜在能力を引き出す関わりについて理解する。 障がいのある子どもの安全確保のための支援のあり方について理解する。 障がいのある子どもをとりまく保健・医療・福祉・教育チームの連携について理解する。
実習の内容	＜病院＞ 1)入院治療を受ける子どもの状態が言語化できる。 2)入院がおよぼす子どもと家族の生活への影響について言語化できる。 3)アセスメントツールを用いて看護上の問題が抽出できる。 4)子どもと家族の状態に応じた看護計画の立案、修正ができる。 5)コミュニケーション技術を用いて、子どもや家族に応じた関わりができる。 6)病状の変化をとらえるための観察（フィジカルアセスメント）ができる。 7)子どもの成長・発達、病状に応じた日常生活の援助ができる。 8)検査・処置に伴い、子ども自身が主体的に取り組めるよう心理的援助ができる 9)子どもが安全に検査・処置・治療を受けられるように援助ができる 10)入院中の子ども・家族を取り巻く多職種の連携について説明できる ＜保育所＞ 1)健康な子どもの成長・発達について理解し援助ができる関係を構築できる。 2)健康な子どものセルフケア能力を生かし成長・発達に応じた生活援助ができる。 3)集団生活する子どもの健康管理・安全管理について言語化できる。 ＜特別支援学校＞ 1)障がいのあるこどもについて、国際生活機能分類児童版に基づき、理解する。 2)障がいのある子どもの成長発達の特徴が理解できる。 3)障がいのある子どもの背景について理解する。 4)障がいのある子どもとの関わりを理解する。 5)障がいのある子どもの潜在能力を引き出す関わりについて理解する。 6)子どもの障がい特性とそこから生じる危険因子について理解する。 7)障がいのある子どもに起こりやすい事故について理解する。 8)障がいのある子どもに対する安全確保の支援のあり方を理解する。 9)障がいのある子どもをとりまく保健・医療・福祉・教育チームについて理解する。 10)障がいのある子どもをとりまく保健・医療・福祉・教育チームの連携について理解する。